



大阪府富田林市における 麻しんワクチン接種率向上 への取り組み

富田林医師会 感染症対策委員会
委員長 藤岡 雅 司

2009-9-9

第4回麻しん対策推進会議
厚生労働省専用第21会議室



大阪府富田林市

人口 12万人

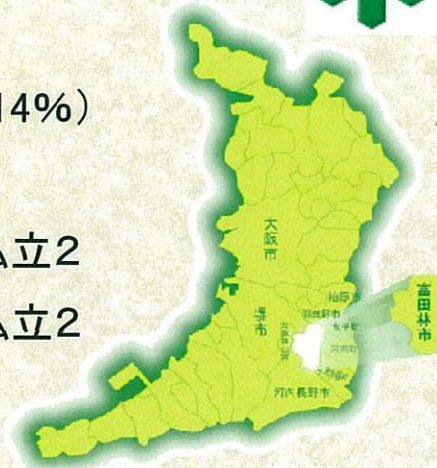
15歳未満 1.7万人 (14%)

中等教育学校

中学校 公立8、私立2

高等学校 公立3、私立2

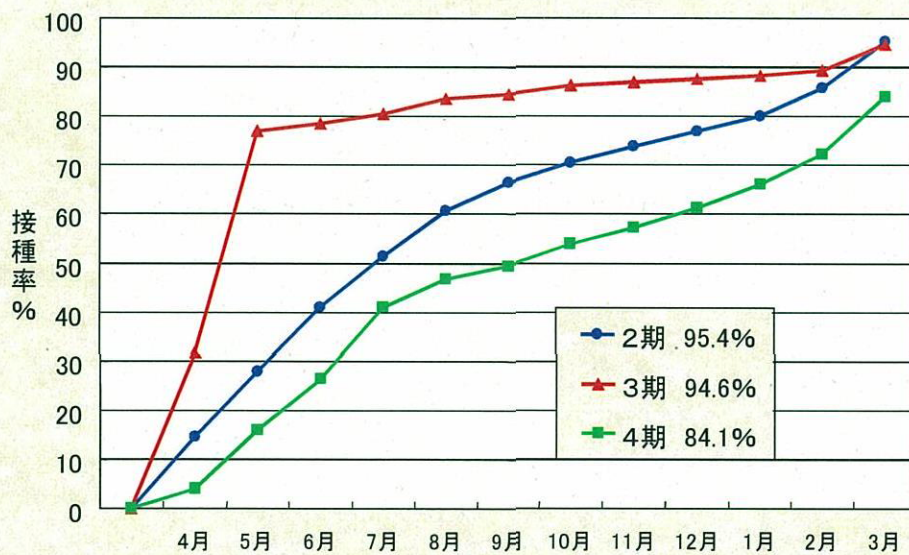
支援学校 公立1



平成20年度麻しんワクチン接種率

	第2期		第3期		第4期	
全国平均		91.8%		85.1%		77.3%
大阪府	44位	88.8%	45位	77.2%	45位	68.1%
富田林市	6位	95.4%	2位	94.6%	2位	84.1%

平成20年度 麻しんワクチン累積接種率



接種率向上への取り組み

- 接種記録の電算化と未接種者の把握
- 郵送、電話による個別勧奨

- ✓ 第3期 公立中学校での集団接種
- ✓ 第4期 公立高等学校での集団接種
- ✓ 第3、4期 保健センターでの休日集団接種
- ✓ 第2期 早期接種者への文具券配布
- ✓ 第1～4期 未接種者への行政措置接種

取り組み その1

第3期

公立中学校での集団接種

麻しんにかかる定期接種

- 1期 1歳の1年間
- 2期 小学校就学前の1年間
- 3期 中学校1年の1年間
- 4期 高校3年相当年齢の1年間

- ・中高生には、「かかりつけ医」がほとんどいない
→医療機関での接種にこだわる必要性が少ない
- ・中高生の生活の場は、主に学校等(授業・クラブ)
→学校等で接種機会の提供が必要
- ・国も「接種を受けやすい環境整備」に配慮
→集団接種の安全基準、保護者同伴要件の緩和

学校における 麻しん 対策ガイドライン

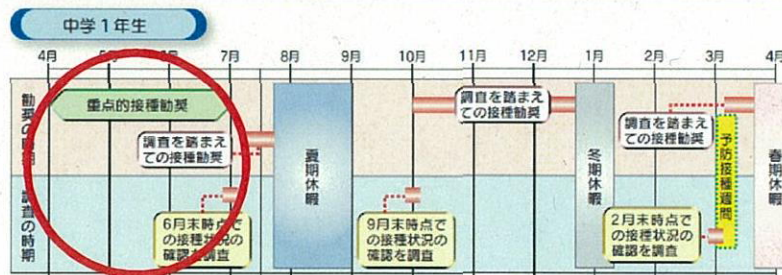
作成 国立感染症研究所感染症情報センター
監修 文部科学省・厚生労働省

積極的勧奨のスケジュール

【中学1年生に対する積極的勧奨】
中学1年生については、その保護者を勧奨の最終的な対象とする。

②可能な限り4～6月中に予防接種を受けるよう勧奨する。
(重点的に接種を勧める期間)

積極的勧奨のスケジュール



各中学校長 様

健康推進部健康づくり推進課長

中学1年生の麻しん風しん集団接種に実施について(依頼)

日頃は、本市予防接種行政の推進にご理解ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、今年度から中学1年生を対象とした第3期麻しん風しん予防接種が5年間の期限付きで開始されることになりました。国は麻しん排除計画の接種率として95%以上を目標としております。

高い接種率を達成するためには、中学生が接種を受けやすい機会を提供する必要があります。当市におきましては、各公立中学校において、下記の日程で集団接種を実施したいと存じます。なお、接種にかかる安全確保に万全を期すために、国の定める安全基準を遵守して実施いたします。

つきましては、接種対象者である中学1年生に保護者あての説明書及び予診票等を学校のスケジュールに合わせて配布していただき、接種当日、生徒に保護者の同意欄に署名をした予診票を必ず持参するよう、ご指導をお願いいたします。

お忙しいところご面倒をおかけいたしますが、接種当日は、会場への生徒引率等についてご協力を併せてお願い申し上げます。

広報

PUBLIC RELATIONS TONDAIYASHI CITY

とんだばやし

7月

第25回石川大清掃
千早川・佐備川・宇奈田川でも実施

3月2日、7752人の市民が参加し、27.5車で72台(約144人)のごみが収集されました。



4月号の主な内容

◎25年度施政方針、当初予算：P2～P4

◎新しい行政組織：P6～P7

◎くらしの情報：P20～P25

◎文化・スポーツの情報：P26～P31

平成20年
4
2008
4月1日

■予防接種法の改正により、麻しん風しん予防接種を中学1年生および高校3年生に相当する年齢の人も受けられるようになりました

麻しん(はしか)は人から人へ感染しやすく、予防接種を受けないと多くの人がかかる感染症です。このため、予防接種で未然に防ぐことが重要です。

今まで麻しんワクチンを1回しか受けていない世代の免疫補強を目的に、今年4月から24年度までの5年間に、2回目が受けられるようになりました。

なお、同時に風しん対策も行うため、原則として麻しん・風しん混合(MR)ワクチンを接種します。

対象者と実施場所

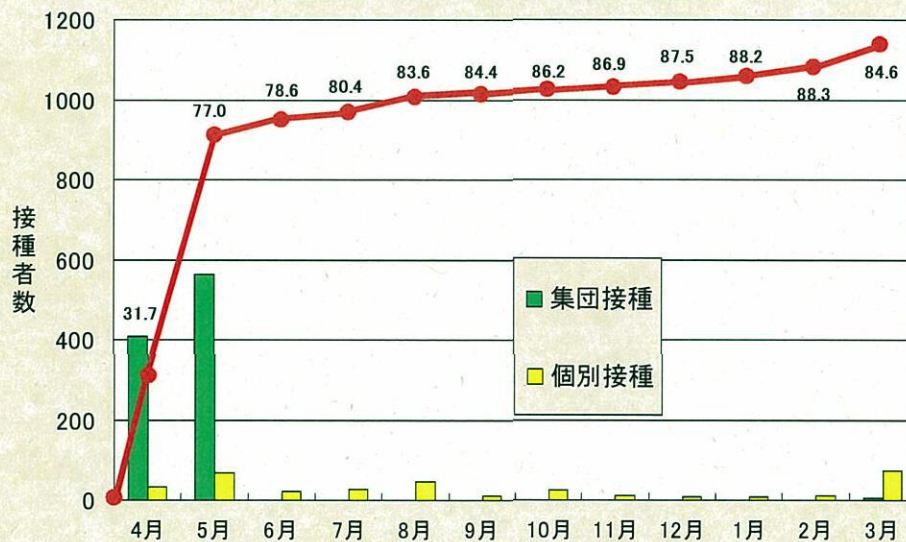
第3期＝平成7年4月2日～平成8年4月1日生れの人(中学1年生相当)、公立中学校(指定医療機関でも受けられます)
※私立中学校などへ通学している人は、指定医療機関で個別接種。

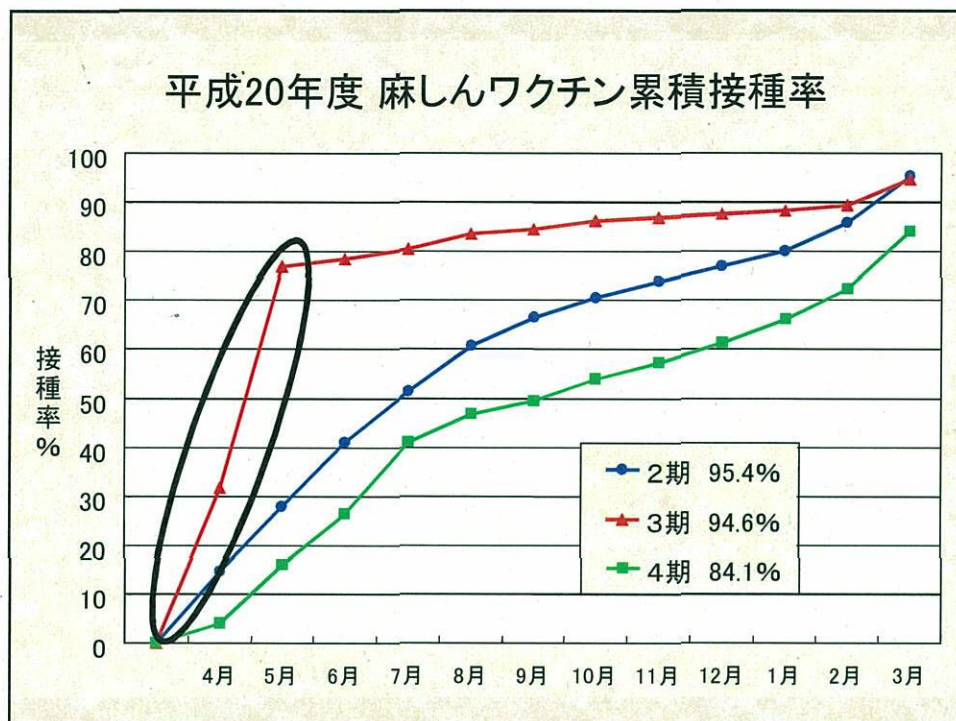
公立8中学校での集団接種

年月日	学校名	対象者数	集団接種 希望者数	集団接種 希望率	実施数	実施率 (%)	接種率 (%)
4月15日	A中学校	168	135	80.4	133	98.5	79.2
4月16日	B中学校	161	137	85.1	133	97.1	82.6
4月28日	C中学校	184	158	85.9	142	89.9	77.2
5月7日	D中学校	84	75	89.3	71	94.7	84.5
5月9日	E中学校	174	141	81.0	130	92.2	74.7
5月14日	F中学校	169	142	84.0	135	95.1	79.9
5月20日	G中学校	144	129	89.6	127	98.4	88.2
5月21日	H中学校	118	107	90.7	101	94.4	85.6
	合 計	1,202	1,024	85.2	972	94.9	80.9

全対象者 1,394人 集団接種実施率 69.7%

平成20年度 第3期 麻しんワクチン接種者数



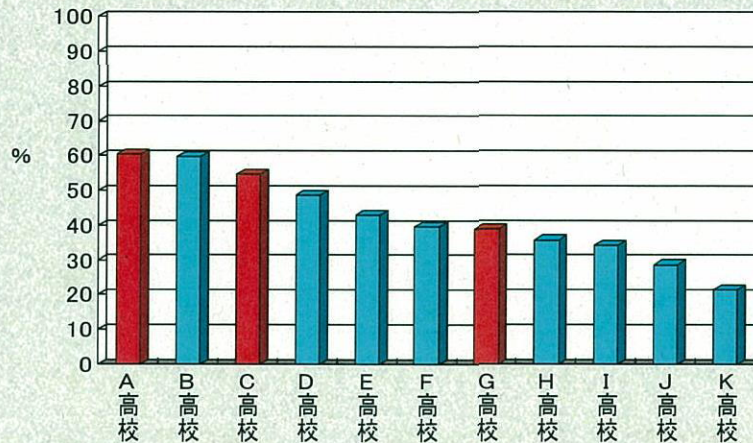


取り組み その2

第4期

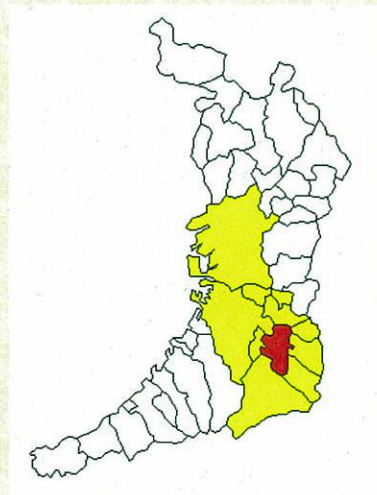
公立高等学校での集団接種

学区内高校別 第4期実施率 平成20年度上半期(4～9月)



第4期 高校での集団接種

- ・富田林市としては実施できない
- ・12月上旬に、校医に対し、学校での接種機会提供の必要性を説明
- ・養護教諭・校長にも説明し快諾
- ・生徒の居住地は8市・2町・1村
- ・居住地市町村に委託契約を要請
- ・保護者へ説明文、校医への接種依頼書を配布

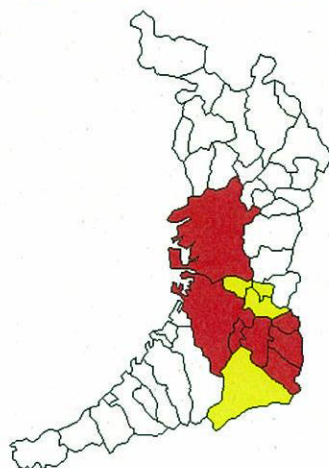


第4期 高校での集団接種

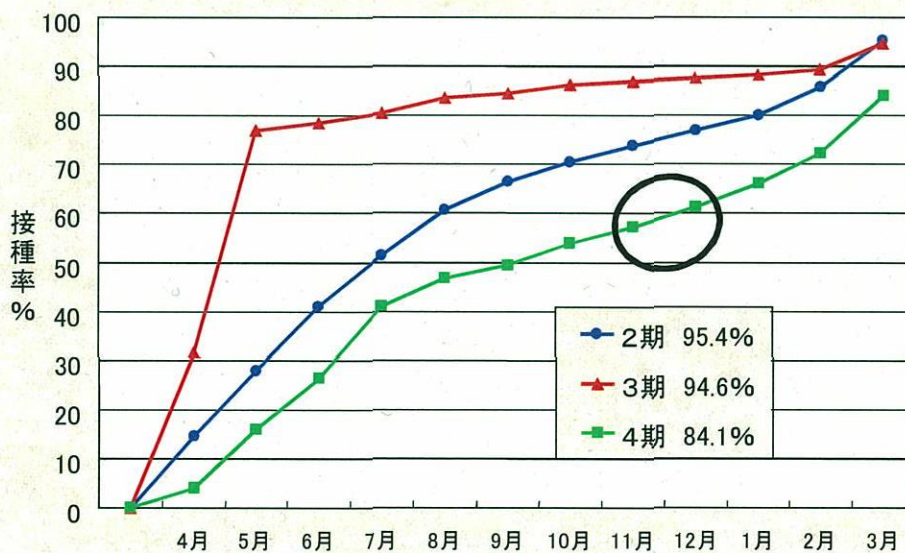
- ・4市とは委託契約を結べず
- ・12月中旬に市内府立高校3校で集団接種を実施
- ・92名に接種(対象者の3分の2程度)
 - A高 : 21名 (7.3%)
 - C高 : 20名 (6.6%)
 - G高 : 51名 (18.8%)

高校や私立中学で接種機会を提供するには

都道府県や県域を越えた広域化が必要!



平成20年度 麻しんワクチン累積接種率



取り組み その3

第2期

早期接種者への文具券配布 (報奨制度)

第2期 早期接種者への報奨制度

- 医師会独自の試行的取り組み
- 換金性の低い文具券を配布
- 費用は接種に要する費用の5%程度
1,000万円として、50万円 (@500円×1,000人)
- 目的: 早期接種の更なる促進
ポスター等での広報活動は行わない
未接種者への罰則⇔自発的早期接種者へのお礼
- 平成21年度の第2期を対象に実施
第3期、第4期: 複数回の接種を避けるため実施せず
母子健康手帳の提示義務がない
接種歴が確認できない

年長クラスのお子さんの保護者のみなさまへ

本日は、麻しん・風しんの第2期定期接種を受けていただき、ありがとうございました。

富田林医師会では今年度から、6月までの早い時期に麻しん・風しんワクチンを受けてくださった年長クラスのお子さんに、お礼の気持ちをこめて記念品をプレゼントさせていただくことになりました。ささやかなものですが、ご笑納ください。

あなたのお子さんが早い時期に麻しん・風しんワクチンを受けてくださったことで、地域での麻しんや風しんの流行が抑えられます。

ワクチンを受ける前の0歳の赤ちゃんや麻しんや風しんに対する抵抗力の低下した妊婦さんなどは、あなたのお子さんがワクチンを受けてくれたおかげで、麻しんや風しんのリスクから守られます。

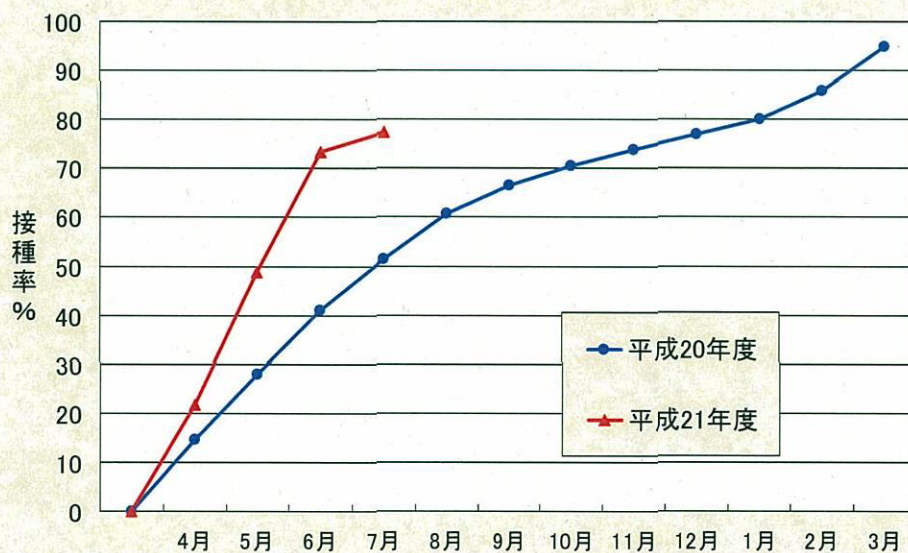
できれば一人でも多くの年長クラスのお子さんが、6月までに麻しん・風しんの第2期定期接種を受けていただけるよう、お友だちの保護者の方々にも、ぜひ伝えてあげてください。

今後とも、地域から麻しんや風しんをなくそう！できるだけ早くワクチンを接種しよう！という私たち医師会の活動に対して、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

末筆ではございますが、ご家族のみなさまのご健康ご多幸をお祈りいたします。

社団法人 富田林医師会 会長 森口英世

第2期 麻しんワクチン累積接種率

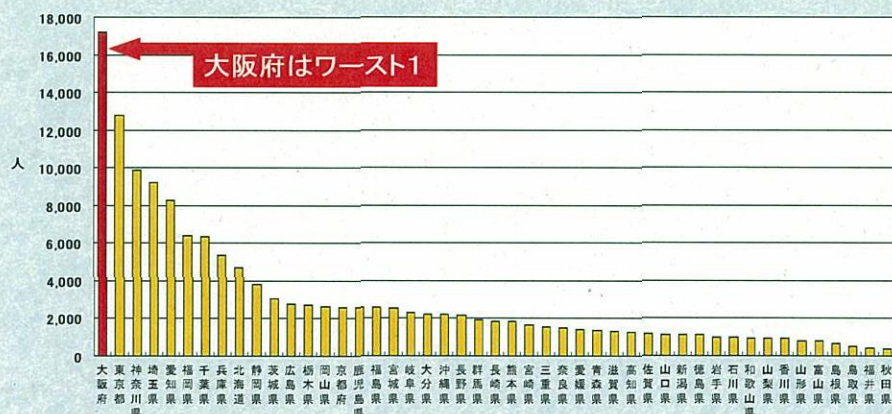


取り組み その4

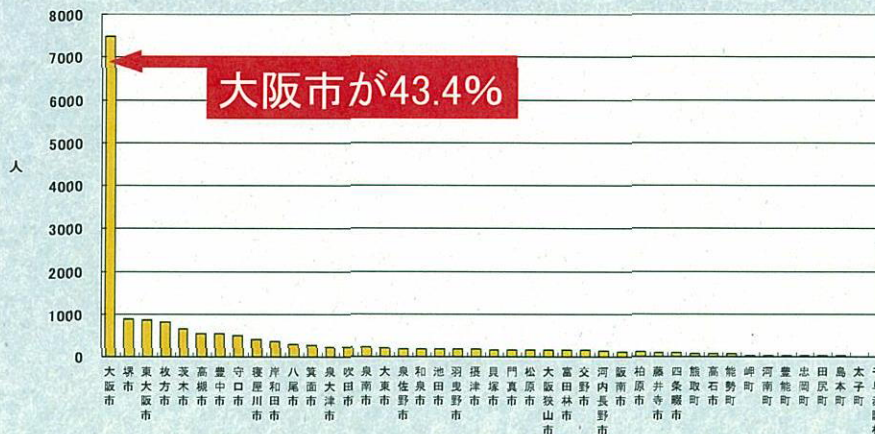
第1～4期

未接種者への行政措置接種

全国 麻しんワクチン 第2期
平成19年度 未接種者数



大阪府 麻しんワクチン 第2期 平成19年度 未接種者数



麻しんに関する特定感染症予防指針

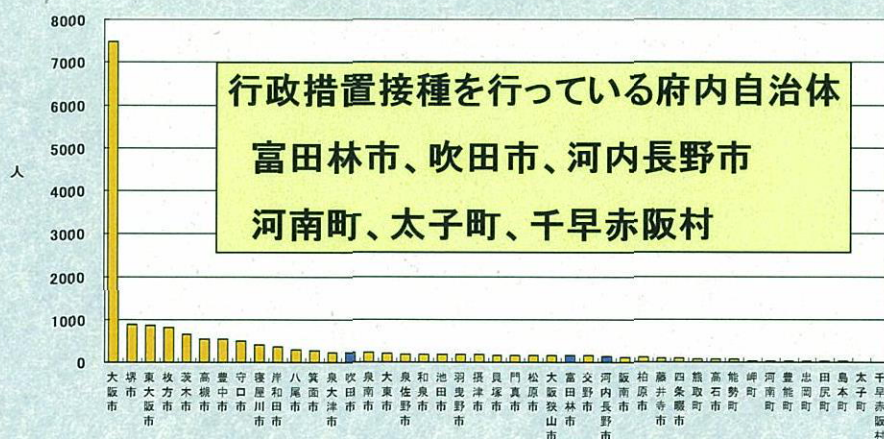
目 標

平成24年度までに**麻しんの排除**を達成し、かつ、その後も**麻しんの排除の状態を維持**することを目標とする。

麻疹排除の定義(WHO 2004)

1. 年間確定麻疹症例数
人口100万人当たり 1未満
2. 麻しん含有ワクチン接種率
2回接種で95%以上
(全地域、各年齢コホートにおいて)
3. 優れたサーベイランス体制

未接種者を放置すれば
麻しん排除は達成できない



富田林市の行政措置接種

- 接種漏れの原因: 不十分な勧奨
- 目的: 感受性者を1人でも減らす
→ 地域での流行を防ぐため
- 接種費用: 公費負担(未執行予算)
- 対象期間 第1期: 7歳未満まで
 第2期: 8歳未満まで
 第3期: 中学2年次
 第4期: 大学1年相当年齢

※未接種者対策は国の責務でもある
→ 定期接種としての位置づけが必要

まとめにかえて

1. 予防接種台帳の整備・活用
2. 個別通知、個別勧奨の徹底
3. 学校等での集団接種の併用
4. 都道府県レベルでの広域化実施
→ 医師会・都道府県の積極的関与が必要
5. 未接種者対策 ← 麻しん排除には必須
→ 定期接種としての対応が必要(国の責務)
→ 予防接種法施行令の一部改正